

鼻孔レティナ (未滅菌) (一対タイプ)

再使用禁止

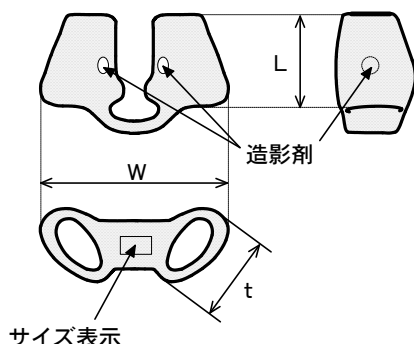
【禁忌・禁止】**

【使用方法】**

- 1) 再使用禁止
- 2) ヨード系の消毒薬の使用や、長時間の紫外線照射は避けること。[本品が劣化し破損等のおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】**

本品は、シリコンゴムを素材として作ったもので、鼻入口部の微妙な形に自然状態で適合する管状構造物である。又、一部に造影剤 (硫酸バリウム) が埋入されている。



製品番号と寸法規格

タイプ	製品番号	サイズ	規格 W×L×t (mm)
スタンダードタイプ	#8101	No. 1	16×8×7
	#8102	No. 2	17×9×8
	#8103	No. 3	18×10×8
	#8104	No. 4	19×10×9
	#8105	No. 5	20×10×10
	#8106	No. 6	21×12×11
	#8107	No. 7	22×12×11
	#8108	No. 8	24×13×13
	#8109	No. 9	25×14×14
	#8110	No.10	26×15×15
	#8111	No.11	27×16×16
	#8112	No.12	29×17×17
	#8113	No.13	30×17×18
ロングタイプ	#8131	No. 1	16×14×7
	#8132	No. 2	17×15×8
	#8133	No. 3	18×16×8
	#8134	No. 4	19×16×9
	#8135	No. 5	20×16×10
	#8136	No. 6	21×18×11
	#8137	No. 7	22×18×11
	#8138	No. 8	24×19×13
	#8139	No. 9	25×20×14
	#8140	No.10	26×21×15
	#8141	No.11	27×22×16
	#8142	No.12	29×23×17
	#8143	No.13	30×23×18

(別売品)

品 名	製品番号	規 格
鼻孔レティナモールドガイド スタンダードタイプ	#8100	No.1～13: 1 組
鼻孔レティナモールドガイド ロングタイプ	#8150	No.1～13: 1 組

【使用目的又は効果】

本品は、柔軟で刺激の少ないシリコンゴムで作られており、患者に負担を掛けることなく唇裂、口唇裂による外鼻変形、鼻形成術後の変形、鼻入口の狭窄について矯正、あるいは予防することを目的として使用する。

【使用方法等】

- 1) 患者の鼻孔に合った適切なサイズ選定を行う。

＜注意＞

- ① サイズ選定にあたっては、別売りの「鼻孔レティナモールドガイド」を使用するのが望ましい。[本品は不定形であり寸法で明確な選定が困難であるため。]
- ② 左右の繋ぎ部を切らないこと。[本品が鼻の奥に入りこみ抜け難くなる、あるいは吸い込まれるおそれがあるため。]
- 2) 本品は、未滅菌品のため、包装から取り出し精製水で表面の埃を洗い流した後、以下のいずれかに従い滅菌する。

滅菌方法	滅菌条件	
オートクレーブ滅菌	温度	121℃
	圧力	98kPa
	時間	20 分以上
エチレンオキシайд ガス (EOG) 滅菌	使用ガス	EOG 10～30%
	ガス濃度	500～800mg/L
	温度	40～60℃
	湿度	40～60RH%
	圧力	58～137kPa
	作用時間	4～6 時間

- 3) 滅菌後、本品を患者の鼻孔内に挿入する。

＜注意＞

- ・ 本品の上下左右を確認して挿入すること。

- 4) 抜去は本品の外部に露出している部分を静かに引いて行う。

＜注意＞

- ・ 鉗子等で本品をはさむ場合には傷等をつけないように注意すること。[本品の特性上、傷等により破断するおそれがあるため。]



【使用上の注意】**

【重要な基本的注意】

- 1) 分泌物等の汚れは随時取り除き、清潔な状態を保つこと。[鼻腔閉塞や感染症の原因となるため。]
- 2) 本品の交換の頻度は患者の状態に大きく左右されるが、十分な観察を行い、少なくとも 1 ヶ月に 1 回程度を目安として交換すること。[不潔な状態で使用すると感染症の原因となるため。]

【不具合・有害事象】**

本品の使用中に次の事象が起こることがある。使用期間中は十分な観察を行い、このような場合には本品の使用を中止し、適切な処置を行うこと。

1) その他の不具合

異物混入

2) その他の有害事象

感染、肉芽形成、鼻腔閉塞、誤飲

【保管方法及び有効期間等】**

【有効期間】**

3 年 [自己認証 (当社データ) による。]

【主要文献及び文献請求先】* *

【主要文献】

- 1) 「鼻成形術後の鼻外、鼻内 Prosthesis の応用」長田光博、橋本和夫、秋山太郎：形成外科 11(3)、1968
- 2) 「唇裂形成術における変形外鼻の処置－われわれの遍歴と最近おこなっている早期新生児期の非観血的矯生について」松尾清、広瀬毅、小田切徹太郎、野呂瀬昇、横西清次：信州医誌 34(6)、1986

【文献請求先】* *

株式会社 高研 営業企画部
TEL 03-3816-3500

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】* *

【製造販売元】* *

株式会社 高研
TEL 03-3816-3500

【製造元】

株式会社 高研